

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 3. 24 - 第 11 号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2023 年春季生活闘争 第 2 回回答集計結果について

連合本部は、2023 年春季生活闘争につき、3 月 23 日（木）17 時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 平均賃金方式で回答を引き出した1,290組合の定昇相当込み賃上げの加重平均は11,554円・3.76%（昨年同時期比5,102円増・1.63ポイント増）となった。第1回回答集計（11,844円・3.80%）の水準を維持しており、比較可能な2013闘争以降で、額・率とも最も高い。賃上げ分が明確に分かる967組合の賃上げ分は、6,594円・2.25%（同4,979円増・1.75ポイント増）で、同様の集計を開始した2015闘争以降、最も高くなった。1,290組合のうち、組合員300人未満の中小組合は706組合で、その定昇相当込み賃上げは8,763円・3.39%（同3,735円増・1.43ポイント増）となり、全体と同じく2013闘争以降最も高い。賃上げ分が明確に分かる中小組合453組合の賃上げ分は5,473円・2.06%（同3,847円増・1.44ポイント増）で、2015闘争以降で最も高い。依然高い水準の回答が続いており、中堅・中小組合が「賃上げの流れ」をしっかりと引き継いでいる。引き続き「人への投資」と月例賃金にこだわって粘り強い交渉を構成組織・地方連合会とともに支援していく。
- 4,989組合が要求提出済み（同269組合増）、うち月例賃金改善（定昇維持含む）を要求したのは3,908組合（同57組合増）である。959組合が妥結済みで、そのうち賃金改善分を獲得した組合は658組合・68.6%となり、昨年同時期の50.2%を大幅に上回っている。

連合北海道は、3 月 24 日（金）13 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 集計可能な回答を引き出した組合は 32 組合（昨年同時期比 8 組合増）、人数は 24,617 人（同 2,716 人増）であった。
- 回答引き出し組合が少数であるため単純に比較はできないものの、月例賃金の加重平均は、9,238 円・3.37%（同 3,420 円増・1.24 ポイント増）となった。
- 引き上げ率では、300 人未満の中小組合の 17 組合で 3.79%となっており、300 人以上の 3.36%を上回った。
- ベースアップ分が明確にわかる組合は 25 組合あり、全体では 4,525 円（同 3,233 円増）、300 人未満の 12 組合では 6,470 円（同 6072 円増）、300 人以上では 4,418 円（同 3,106 円増）となっている。

組合規模別賃上げ状況 2023 年 3 月 24 日 連合北海道集計

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300 人未満	17 組合	1,670 人	8,041 円 (3.79%)	2,998 円 (1.99%)	5,043 円 (1.80%)
300 人以上	15 組合	22,947 人	9,306 円 (3.36%)	5,973 円 (2.14%)	3,333 円 (1.22%)
計	32 組合	24,617 人	9,238 円 (3.37%)	5,818 円 (2.13%)	3,420 円 (1.24%)